

年頭にあたってのご挨拶

関係の皆さま方におかれましては、ご家族や身近な方々とともに、穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

去年は、新型コロナウイルスの世界的な流行により、異例の一年となりました。当所の事業においても、新しい生活様式、新たな働き方に直面し、多大な影響が及びながらも、関係の皆さま方のご理解、ご協力を賜り、無事に事業を推進することができました。この場をお借りして、深く感謝を申し上げます。

事業については、おかげさまで、オリンピック・パラリンピック東京大会 2020 を目指して長い間にわたって取り組んできた羽田空港の機能強化事業に一つの区切りをつけることができました。サウス（際内）トンネルをはじめ、関連の工事が概ね完了し、多くの施設を供用開始することができました。また、従来から推進している耐震対策、高潮対策、海域環境対策についても、着実に事業を推進することができました。関係の皆さま方のご理解、ご協力に、あらためて感謝を申し上げます。

それでも、羽田空港は、将来を見据えて、航空需要の回復・増大への的確な対応による活力ある日本経済の実現に向けて、今後も事業を計画的に推進していく必要があるものと認識しております。今年も、アクセス鉄道整備、旅客ターミナルエプロン改修などの事業も本格的に推進して参る予定です。

ご案内のとおり、当所所管の工事、業務は、世界でも有数の拠点空港である羽田空港の運用に影響を及ぼさないために、夜間・土日休日の実施や、厳しい現場管理が必須であり、関係の事業者の皆さま方のプロジェクトマネジメント、施工管理は困難を極めます。このような状況の中でも、関係の皆さま方には、安全確保に最大限のご配慮をいただきながら、計画的で丁寧に取り組んでいただいている認識です。本年も引き続き、安全第一、事故防止の理念のもと、着実な事業の推進にご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、コロナ禍に伴う新しい生活様式や働き方改革についても、今年も、やや落ちついた議論のもとで、見直しや、定着が図られていくものと思っております。関係の皆さま方には、引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の取り組み

にご理解、ご協力をいただき、柔軟で臨機応変な対応により、感染拡大防止のみならず、相互の生産性向上も合わせて推進していただけますようよろしくお願いいたします。

本年は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて、年末年始の慣例的な挨拶等の自粛要請がなされていることに鑑み、このような形で広く新年のご挨拶を申し述べさせていただきました。

関係の皆さま方におかれましては、本年が良き年となりますよう重ねてお祈り申し上げますとともに、本年も引き続き、当事務所の所管事業にご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年も、「ご安全に」、よろしくお願いいたします。

令和3年1月
国土交通省関東地方整備局

東京空港整備事務所長 小澤 敬二